

世田谷西部支部

天理教世田谷西部支部（東麻分教会内） 発行責任者 馬場 理 編集 支部編集部

令和5年1月1日発行

〒157-0065

上祖師谷 7-20-6

TEL 3300-5653

1月

支部長年頭挨拶

馬場 理

あけましておめでとうございます。旧年中は支部活動の上に御力添えを賜りまして誠にありがとうございました。どうぞ新しい年、立教百八十六年も宜しくお願い申し上げます。

世情はいま過去に経験の無い程混沌を深めています。又深刻な感染拡大、温暖化による気候変動等も人の命にかかわる次元に達しています。

まさに混沌極まる世情と立て合うように、今教祖百四十年祭三年千日の門出を迎えました。昨年秋季大祭に発布された諭達第四号の中で、真柱様は、「陽気ぐらしへ進むただ一つの道は教祖ひながたの道である」と明示されました。正に今こそひながたの実践が求められている時なのです。

又、私たちの身近な地域を見わたせば、家族の形態も核家族がもはや減少し、単身世帯が急増しています。情報があふれる中で、今ほど孤独な時代も無いのではないのでしょうか。地域における人のつながりが切に求められる時代です。支部活動は地域のつながりを以て安心できる暖かい居場所を目指しています。

お道では「たて」と「よこ」という事を言います。たての糸は直属系統、よこの糸は地域支部、そして織りなす布は、陽気ぐらしという暖かい布地を創るかもしれない。

どうぞ本年も年祭活動と共に、身近な地域活動の上に変わらずお力添え賜りますよう重ねてお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

世田谷西部支部ホームページ

<https://tenrikyou-setagayaseibu.jimdofree.com/>



☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会
1月30日（月）10時より
例会と併せて行います
会場 東世分教会

- ・教区ひのきしん
1月19日（木）午前9時半～
2組1名

- ・婦人会例会
1月はお休みとさせていただきます

1月支部例会

日時 1月30日（月）10時～

会場 東世分教会（桜丘2-6-3）

TEL 03-3429-3271

会長 岡庭正行

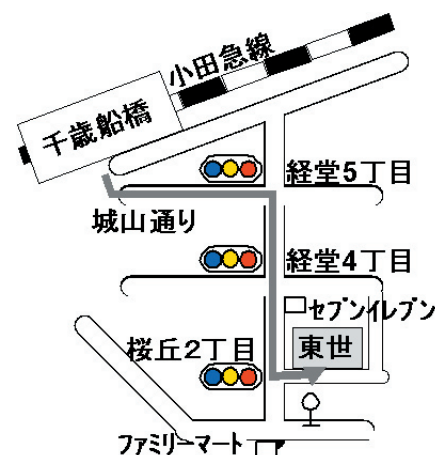
内容 参拝の後、支部長挨拶、

各部各会からの連絡事項、講話

※例会後、「みんなでひのきしん」

※幹事会も例会にて実施とします

交通 小田急線千歳船橋駅徒歩十分



婦人会例会報告

昨年の12月17日、支部婦人会（五百木博子主任）では、東世分教会を会場に年内最後の例会を実施した。

本年もお供えいただいた材料を使い、それぞれが思い思いのリースを制作した。

参加者14名



各部各会年頭挨拶

布教部 竹下光明

明けましておめでとうございます。この三年間、コロナ対応の行動制限により支部活動も中止や縮小を余儀なくされていましたが、徐々に「ウイズコロナ」を前提とした日常生活の再開が始まっています。

昨年は、支部例会、全教一斉の「ひのきしんデー」、「にをがけデー」などを規模を縮小しつつも行うことが出来ました。本年はできれば、「陽気暮らし講座」などと合わせて支部総会も開催したいと考えております。

布教と求道は表裏一体と言われますが、おみちの信仰を人に伝えるには、まずは自らが教えを正しく理解し、心に修めなくてはならないと思います。最近は教区の例会でも後半に勉強会や練り合いの時間をとって教えの修徳に力を入れており、支部例会でも、その要約を簡単にお話しさせていただいていますが、今年もそうした「内容の充実」に勤めていきたいと思っています。特にコロナ感染が続いている今は、じつくりと教えを学ぶ良い機会ではないかと思っています。

また、事務局担当として支部内のようなよく名簿などをアップデートして、メールやラインなどの登録メンバーも増やして、支部内の情報伝達を活性化していきたいと考えています。

本年も楽しく、実りある支部活動が出来るようサポートさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



厚生部 宮川隆雄



新年あけましておめでとうございます。

昨年中は厚生部にお心寄せを頂き、誠に有難うございました。本年も変わります、宜しくお願い申し上げます。

昨年御本部秋季大祭において、真柱様より教祖百四十年祭の指針である論達第四号が御発布戴きました。四年ぶりに真柱様の声を直に聞かせて頂き、こみ上げてくるものがありました。真柱様は論達の中で、

「教祖の親心にお応えすべく、よふばく一人ひとりが教祖の道具衆としての自覚を高め、仕切つて成人の歩みを進めることが、教祖年祭を勤める意義である。」

又「教祖年祭への三年千日は、ひながたを目標に教えを実践し、たすけ一条の歩みを活発に推し進めるときである。」とお示し頂いております。

この論達を受けさせて頂き、これまでの自分自身の通り方、特にこのコロナ禍における通り方を振り返り、この三年千日を心新たに勇んでいかけ、おたすけにコツコツとつとめさせて頂きたく存じます。

思索せよ！

実行せよ！

而して親の心に溶け込め

社友・時報手配り 岸本道行

明けましておめでとうございます。旧年中はコロナ禍の中で様々な活動が制限され、天理時報の手配りも自粛せざるを得ない状況が続きました。積極的に参加して下さっていた皆様にとりましては、何とも歯痒い一年であつたと拝察致します。

教祖140年祭に向かい三年千日活動が始動する本年は、真柱様よりご発布頂きました論達第四号の精神を指針に、心一つに添わせて頂けるよう、足並みを揃えて歩み出しをさせて頂きたいものと存じます。

コロナの感染状況はまだ第8波が押し寄せる様相ですが、徐々に行動制限も緩和されつつあります。

本年も天理時報の手配り活動にご理解お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

用賀分教会 神殿落成奉告祭

11月23日、用賀分教会では神殿落成奉告祭が、東大教会長夫妻を来賓に迎え、更には用賀にゆかりある大勢の参拝者が寄り集い勤められました。

藤宮淳一会長は祭文と挨拶の中で「神殿の老朽化による瓦の劣化、雨漏りなどもあり、建て替えに向けて話し合いを重ねてきた。昨年に前会長の出直しという大節を見送っていたが、それでも予定通り工事が進み完成のご守護をお見せいただけた。用賀に繋がる先人先輩方に御礼を申し、これから新しい神殿と共に間近に迫る教祖140年祭に向けて、教会に繋がる人と勇んで歩んでいきたい」と感謝と決意を述べられました。

